

令和2年度大学教育再生戦略推進費 「知識集約型社会を支える人材育成事業」計画調書

[基本情報]

1. 大学名	新潟大学							
2. 機関番号	13101							
3. 事業者 (大学等の設置者)	ふりがな うしき たつお (氏名) 牛木 辰男		(職名) 学長					
4. 申請者 (大学の学長)	ふりがな うしき たつお (氏名) 牛木 辰男		(職名) 学長					
5. 事業計画責任者	ふりがな こくぼ よしこ (氏名) 小久保 美子		(所属・職名) 理事 (教育・学生支援担当)					
6. メニュー	メニュー I 文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム							
	事業計画名	全学分野横断創生プログラム						
7. 事業プログラムに参加する学生の所属学部等名	人文学部, 教育学部, 法学部, 経済科学部, 理学部, 医学部, 歯学部, 工学部, 農学部, 創生学部							
8. 事業計画のポイント(400字以内)	<p>本事業では、本学がこれまで構築してきた主専攻・副専攻プログラムを有する教育システムを最大限に活用し、主専攻プログラムが、それぞれ全学に向けて「マイナー学修パッケージ」を提供することで、主専攻（メジャー）を学びながら、他分野を副専攻（マイナー）として学ぶことができる柔軟なプログラムを構築し、これにより学問分野の魅力的な掛け合わせを実現する。すなわち、この「全学分野横断創生プログラム (Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program, NICE program)」では、コモンリテラシーを学びの基盤としながら、学生一人一人の問題意識に適合した分野横断型の学びを創生し、学修の意味付けを深めていくことができる、きめ細かな学修支援体制を整備する。これらにより、総合大学の豊富な教育資源を活かしつつ、学生一人一人の学びの動機づけを高めるオーダーメイド型の教育を実現する。</p>							
9. 学生・教職員数		学生数				教職員数(R2.5.1)		
		入学定員 (令和2年度)	全学生数 (R2.5.1)	収容定員 (令和2年度)	定員充足率 (R2.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	2,222 人	10,172 人	9,501 人	107.1%	1,472 人	1,694 人	3,166 人
	大学院	813 人	2,027 人	1,927 人	105.2%			
合計	3,035 人	12,199 人	11,428 人	106.7%				
10. 連携先機関名 (他の大学、民間企業等と連携した取組の場合の機関名)	該当なし							

11. 学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況について、公表しているHPのURL

<https://www.niigata-u.ac.jp/university/about/data/teacher/>
<https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/researchers/>

12. 事業計画経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て						
年度(令和)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
事業規模	52,810	79,802	79,441	66,291	68,571	346,915
内訳	補助金申請額	49,210	47,947	49,286	33,096	196,139
	大学負担額	3,600	31,855	30,155	33,195	150,776

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金は「大学負担額」に計上しないこと。

※2. 国立大学における運営費交付金、公立大学における運営費交付金等、私立大学の私立大学経常費補助金等は「大学負担額」に計上しないこと。

13. 事業プログラムの受入学生定員(1学年あたり、事業最終年度)	
240	名

<メニュー I のみ記入>

14. 専門分野 (主たる分野の順に記載してください (最大5つ以内))	大分類	中分類	小分類
	人文科学		
	社会科学		
	理学		
	工学		
	農学		
15. 授与する学位 分野・名称	学士(文学), (教育学), (法学), (経済学), (経営学), (理学), (医学), (看護学), (保健学), (歯学), (口腔保健福祉学), (工学), (農学), (学術)		

(大学名:新潟大学)
(事業名:全学分野横断創生プログラム)

「全学分野横断創生プログラム (Niigata University Interdisciplinary Creative Education) 事業概要図」

■新潟大学における教育改革の歴史

H14 教育組織と教員人事組織の分離 (教教分離)

H16 全学科目化

H17 副専攻制度の導入 (分野別副専攻、課題別副専攻)

H18 主専攻プログラム化

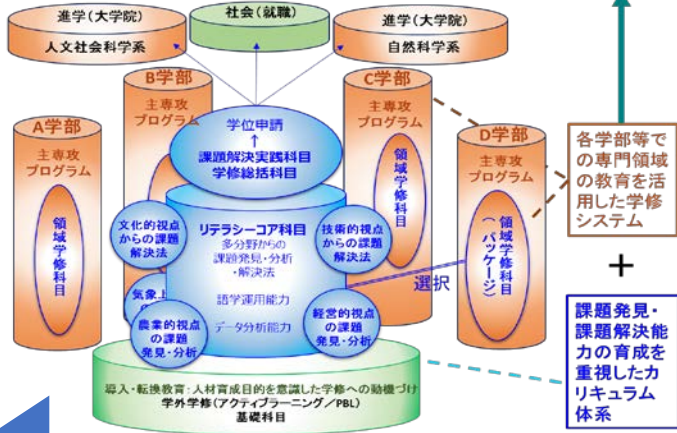
H23 新潟大学士カアセスメントシステム (NBAS) 開発

H27 大学教育再生加速プログラム (AP)、COC+

H29 創生学部 (領域学修パッケージ)

R2 経済科学部 (モジュール制)

創生学部：総合大学の資源を活用し、学生自らが学修をデザインする「到達目標創生型学位プログラム」



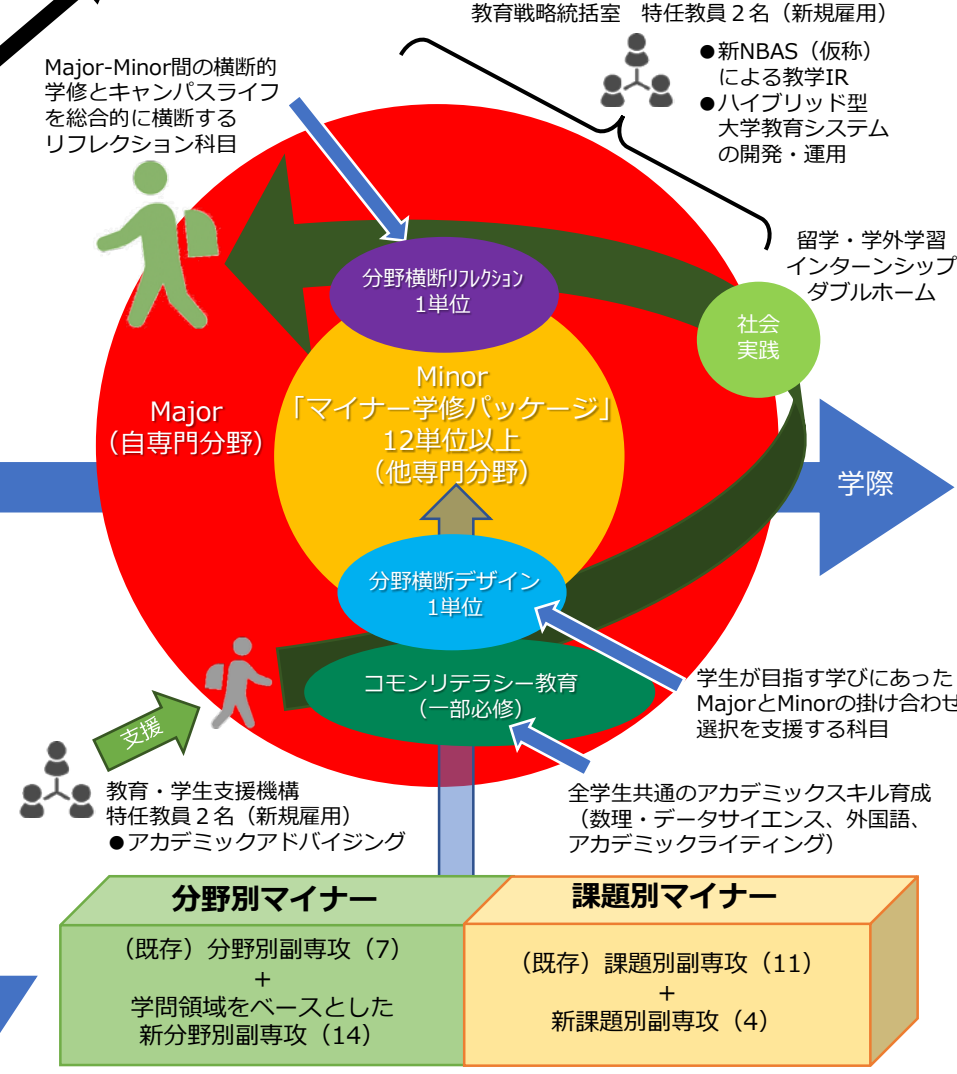
選択した専門を社会実践に活かすことを学ぶ
1主専攻プログラム 22専門分野
(領域学修科目パッケージ)

専門

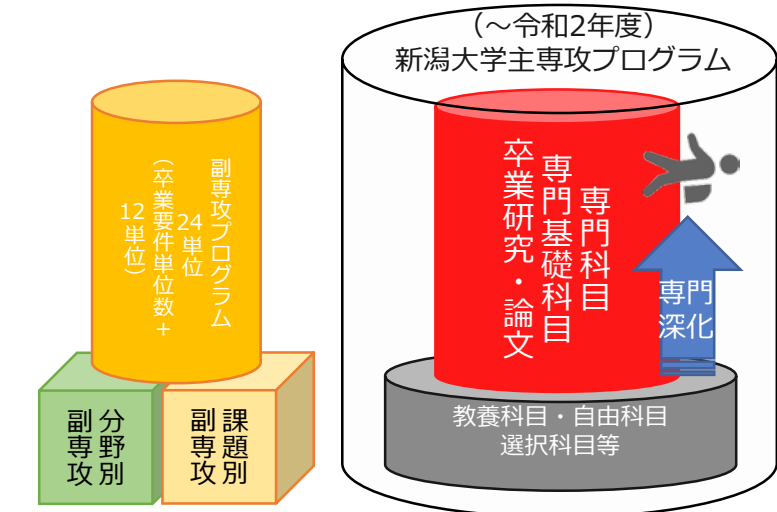
社会
実践

全学分野横断創生 (NICE) プログラム
＜育成する人材像「文理複眼の視野を持つソリューション志向型人材」＞
複数の専門をアカデミックに学ぶ × 複数の専門を社会実践に活かすことを学ぶ

Major (自専門分野) × Minor (36分野) の学びの掛け合わせ



学問



1 専門をアカデミックに学ぶ
主専攻プログラム 1専門分野

(~令和2年度)
新潟大学主専攻プログラム

専門基礎科目
卒業研究・論文
専門深化

教養科目・自由科目
選択科目等

副専攻プログラム
(卒業要件単位数 +
24単位)
12単位

副分野別
副課題別